

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アソベル東新町			
○保護者評価実施期間	R7年 9月 1日 ~ R7年 9月 25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	69人	(回答者数)	13人
○従業者評価実施期間	R7年 9月 1日 ~ R7年 9月 25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	5人
○訪問先施設評価実施期間	R7年 9月 1日 ~ R7年 9月 25日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	24校	(回答数)	10人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 9月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校、保護者、放課後等デイサービスとで連携を図れること	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と密に連絡をはかり、個々に適した支援方法を見つけていくこと ・学校での様子、放課後等デイサービスの様子を共有することで違った発見がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に適した支援になるよう努めます ・これからも密に連絡を取り合い、児童がよりよい学校生活を送ることができるよう支援していきます
2	共通理解を図り、一貫性を持った支援を行うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と支援の共通理解をはかることで、一貫性をもった支援ができる ・常に子どもの視点に立つことで、困り感を見つけ寄り添うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所と学校が同じ課題を共有して支援を行っていきます ・些細な困り感も見逃さず、課題解決に努めます
3	個々に合わせた専門的支援を心掛けていること	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援を通して、児童の成長・発達を共に喜び合うことで保護者と訪問先の距離が縮まりより良い支援へと繋がる ・進級や進学の際に、具体的な支援方法を引き継ぐことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な知識をいかし、その児童に適した支援方法を見つけていき、より良い支援へと繋げます ・引継ぎの際には、前年度の支援をいかしながらも、現担任の支援方法も汲み取り、一貫性を持った支援を行います

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	時間を設けることが難しく（担当者との日程や時間の調整が難しい）、カンファレンスの時間が短いこともある。	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担当は次の授業があり、カンファレンスの時間を合わせることが難しく、できないこともある 	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間外でのカンファレンスや、別日に電話等でのカンファレンスを取り入れ、学校と密に連絡を取っていく
2			
3			